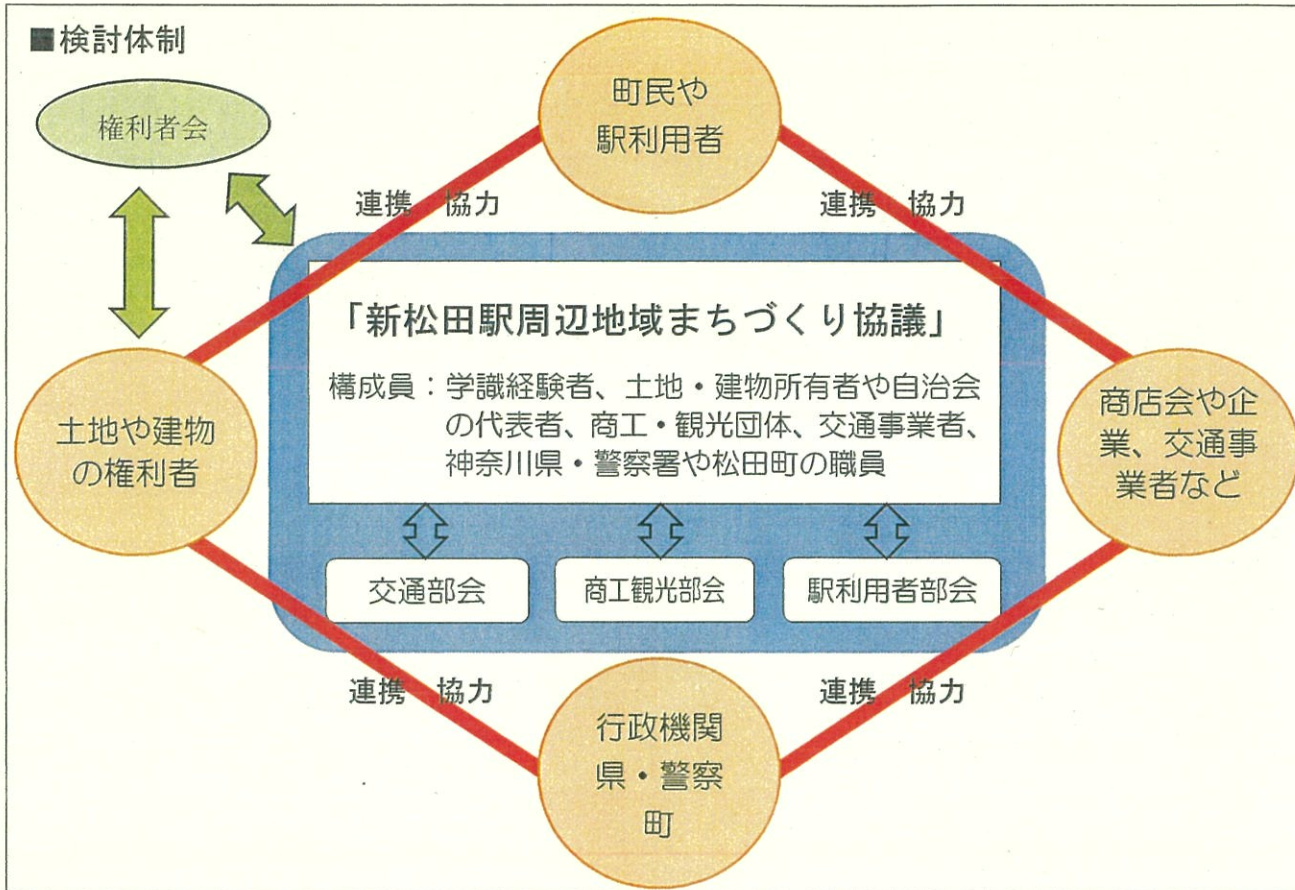


5. 今後の検討体制



■ 本協議会の役割と予定

○ 協議会の目的

新松田駅周辺地域において、県西地区の北の玄関口にふさわしい駅前広場や地方創生に資する周辺地域のまちづくりを目指し、関係者が連携や調整を行い、円滑かつ効率的な事業の推進を図ることを目的

○ 検討内容

- ① 新松田駅前広場等の整備に関する事項
- ② 新松田駅周辺地域のまちづくりに関する事項
- ③ 新松田駅周辺地域の交通安全対策に関する事項
- ④ 前3号に掲げるもののほか、新松田駅周辺地域のまちづくりに関し必要な事項

○ 協議会と部会の関係

協議会：部会での検討結果等踏まえ、駅周辺まちづくりを総合的に検討し、基本方針や基本構想を作成する。

部会：駅周辺まちづくりに関して以下の事項に特化した関係者により、専門的な検討を行い、協議会での検討資料の作成等を行う。

- ・ 交通部会：駅前広場やアクセス道路の整備、交通安全対策に関する事項等の検討
- ・ 商工観光部会：中心市街地としての魅力づくり、活性化に関する事項等の検討
- ・ 駅利用者部会：利用者目線から駅周辺の利便性向上に関する事項等の検討

6. 今後のスケジュール（案）

| 項目 | 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8年目 | 9年目 | 10年目 | 11年目 |
|-----------------------|------------------|-----|-----|---------|-----|---------|------|-----|-----|------|------|
| 駅前広場整備、事業化への取り組み | 基本方針 | | | | | | | | | | |
| | 基本構想 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | 基本設計 | | | | | |
| | | | | | | | 詳細設計 | | | | |
| | | | | | 測量 | 測量 | 本工事 | | | | |
| | | | | 用地交渉・買収 | | | | | | | |
| 住民や民間事業者などが主体となった取り組み | ★ | | | | | | | | | | |
| | 新松田駅周辺地域まちづくり協議会 | | | 基本方針まとめ | | 基本構想まとめ | | | | | |
| 各部会 | | | | | | | | | | | |

■新松田駅周辺地域まちづくり協議会（第1回）

1. これまでの経緯

- 松田駅・新松田駅周辺地区 地区更新計画（平成3年）**参考資料1**
その後の社会経済情勢の急速な変化等により事業実施・推進が困難な状況となった。
- まちづくり構想検討基礎調査（平成21年）**参考資料2**
【まちづくりのテーマ】
「住む人、訪れる人、利用する人のだれもが、魅力を感じるまちづくり」
- 新松田駅周辺地区計画導入調査（平成23・24年）
まちづくり構想検討基礎調査を見直し、「地区計画」構想案に対し必要な調査・検討を実施。（合意には至っていない）
- 新松田駅北口周辺整備検討調査（平成25年）
駅利用者の利便性の向上及び中心市街地の活性化等、あらたな新松田駅北口周辺地区の整備構想を検討。
- 周辺での整備事業
 - 新松田駅南口駅前広場整備事業 **参考資料3**
 - 県道711号（小田原松田）歩道整備事業（現在事業中）

2. 上位・関連計画での位置づけ

- かながわ都市マスタープラン・地域別計画（平成22年11月改定）**
 - ・松田、新松田駅周辺：駅周辺の基盤整備の推進などにより、**交通結節機能を強化**し、駅前商店街などにおける**商業・業務機能の集積**を図る。
- 松田町第5次総合計画（総合計画：平成23年3月、アクションプログラム：平成27年3月策定）** **参考資料4**
 - ・まちなかふれあいゾーン：駅や商店街などを中心にして**楽しく歩けるまちづくり（特徴的な店舗や歴史的資源などの連携・回遊）**を検討する。
 - ・地区情報発信拠点：**交通拠点（新松田駅や松田駅）**や町・文化拠点（町役場・町民文化センター等）、緑・交流拠点（ハープガーデン等）を位置づけ、町や地域などの様々な情報を受発信できる場として整備する。
- 松田町人口ビジョン・総合戦略（策定中）**
 - ・誰もが快適に暮らせる環境づくり：県西地域の北の玄関口としての役割や持来のあり方を念頭に、町民のニーズを反映し、**従来の駅周辺イメージを一新させる整備**を推進します。

3. 駅周辺の現状と整備課題

■**駅周辺の現状（平成25年度調査より）**

- ・新松田駅周辺の土地利用は、**住宅地（37%）**や**商業地（13%）**が主となっているが、**その他空地の割合（13%）**も高く、そのほとんどが駐車場として利用されている。建物の状況については、**木造比率が58%、老朽化率が40%**となっており、建て替えはあまり進んでいない状況にある。
- ・新松田・松田駅の駅乗降客は、**新松田駅約24,000人、松田駅約7,000人**で、**あわせて約31,000人の利用客**がある。近年、利用者は、**減少傾向**を示している。
- ・新松田駅の駅前広場は、**一般者送迎車両で約1200台/日**（平日・25時間）の利用がある。なお、送迎車両のピークは、朝6:00から7:00で176台、19:00から20:00で91台となっている。駅の**一般車利用**については、**松田町内だけでなく、周辺自治体からアクセスしている人も多い**ものと思われる。
- ・駅周辺を利用する歩行者については、JR線と小田急線との乗り継ぎや、周辺の商店街の利用や学校に通うための学生等の利用が多く見受けられる。こうした一方で、**歩道が狭く、車両等の動線が輻輳している**こともあり、雨天時や夜間時には、危険度が増している状況にある。
- ・町民の意向調査においては、駅北口の整備を進めてもらいたいとの要望が多く、**新松田・松田駅間（南北の人の流れ）の移動円滑化等が期待**されている。

■**交通空間の問題点**

- ・駅前広場は、交通量や利用客の数に対して**発着・滞留スペースが狭い**。
- ・アクセス道路は、送迎者の駐停車や歩道が狭隘なことから、**円滑で安全な交通流を阻害**している。
- ・駅前広場周辺における**駐車場の場所が分かりにくい**。
- ・バスの乗降部分にシェルター等が無く、利用者が**降雨にさらされている**。
- ・バス専用の案内が少ないため**乗り換えが分かりづらい**。
- ・**小田急線と御殿場線・鉄道とバス、タクシーへの乗り換え**等により、歩行者の動線が、輻輳している状況がみられる。

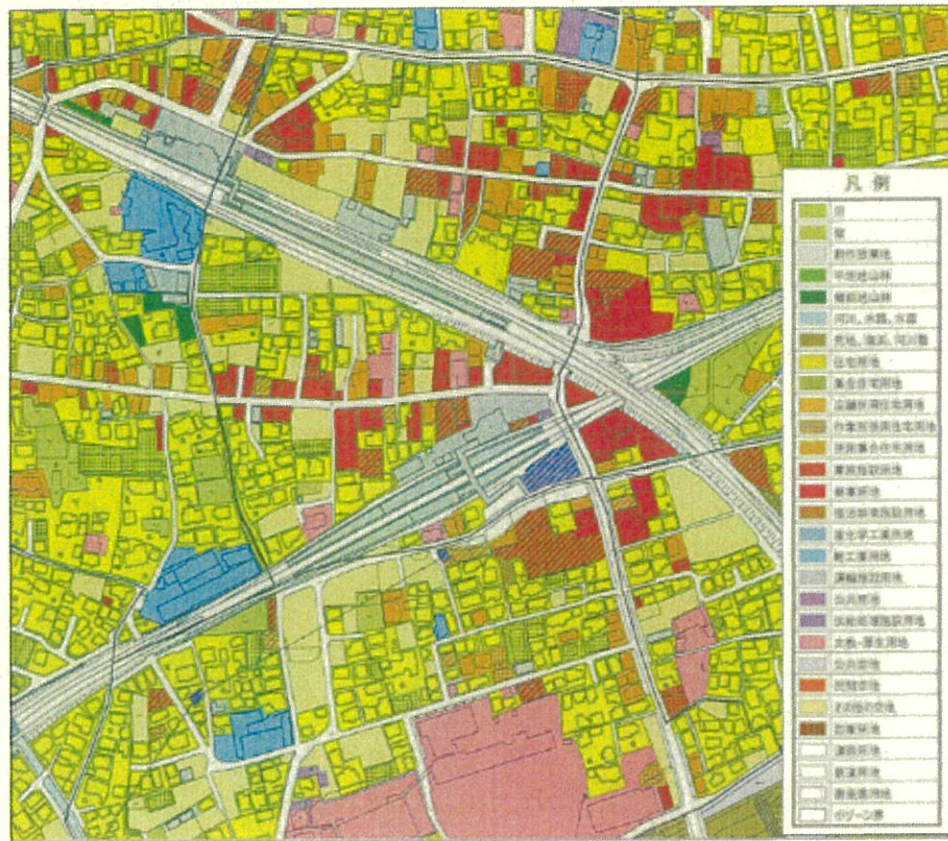
■**まちづくりの問題点**

- ・駅前商店街では建物用途の混在し、空き店舗などもあり、**町の中心地としての賑わい、玄関口としての魅力的な街並みに欠けている**。
- ・老朽家屋等が狭小幅員道路に建ち並んでいるため、**防災的にも問題**を抱えている。
- ・駅前商業地域（容積率400%、建ぺい率80%）が指定されているが、使いきれていない。新松田駅南口では住居系用途地域であるため、**商業系建物の制限がある**。
- ・観光案内標識が少なく、観光客が松田町をイメージできるような**シンボリックなものがない**。

■**整備課題**

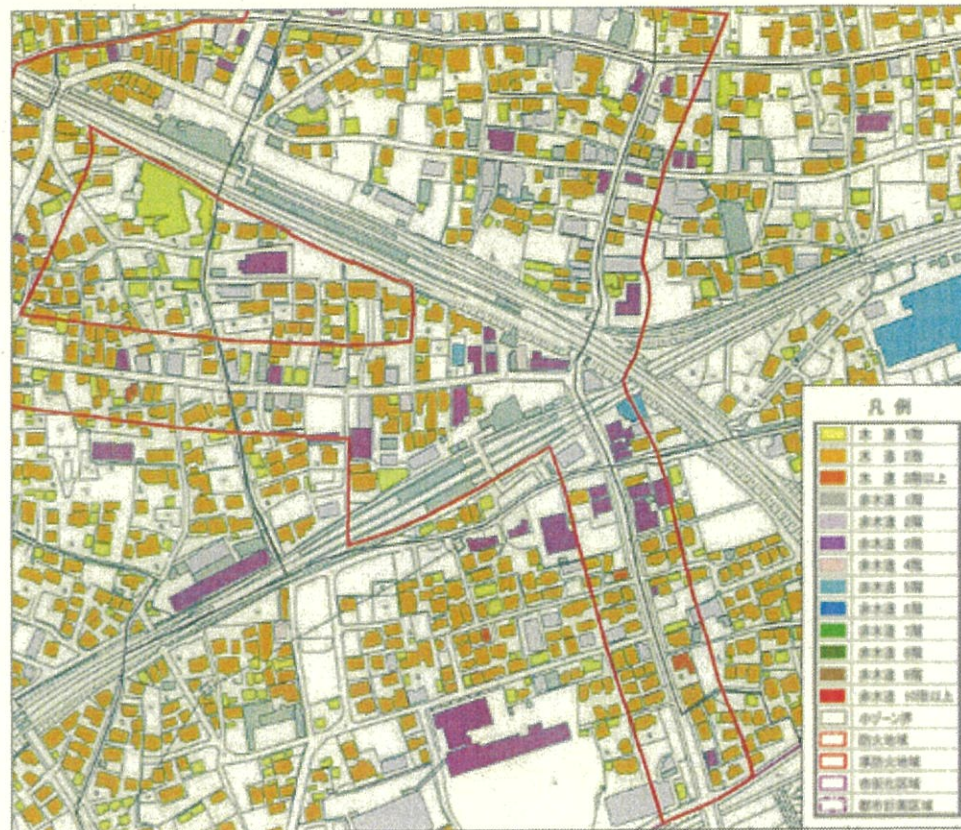
- ・便利で魅力的な中心市街地としての**商業・業務機能の集積**
- ・駅前広場内の施設（交通機能、環境機能、防災機能）の**適正規模の再配置**
- ・アクセス道路における**円滑かつ安全な交通処理**
- ・松田町の玄関口としての**情報発信機能の充実**
- ・商店街や歴史的資源、魅力的な街並みを活かし**楽しく歩けるまちづくり**

▼土地利用現況図



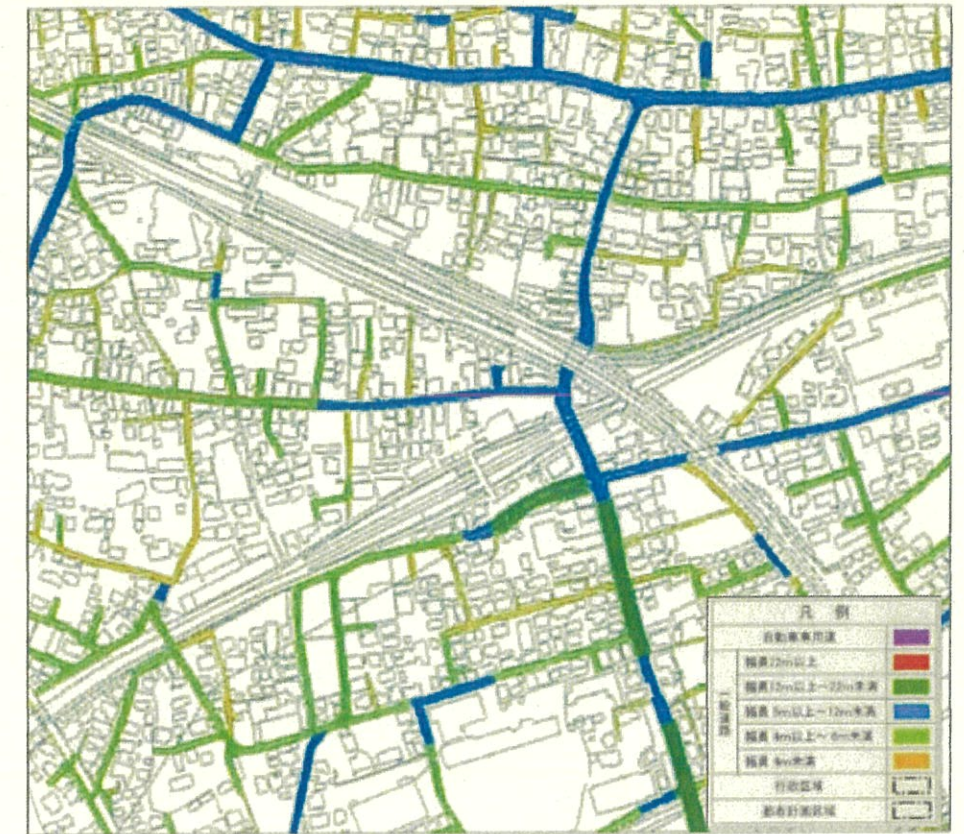
資料：都市計画基礎調査 (H22)

▼建物利用現況図 (構造、階数)



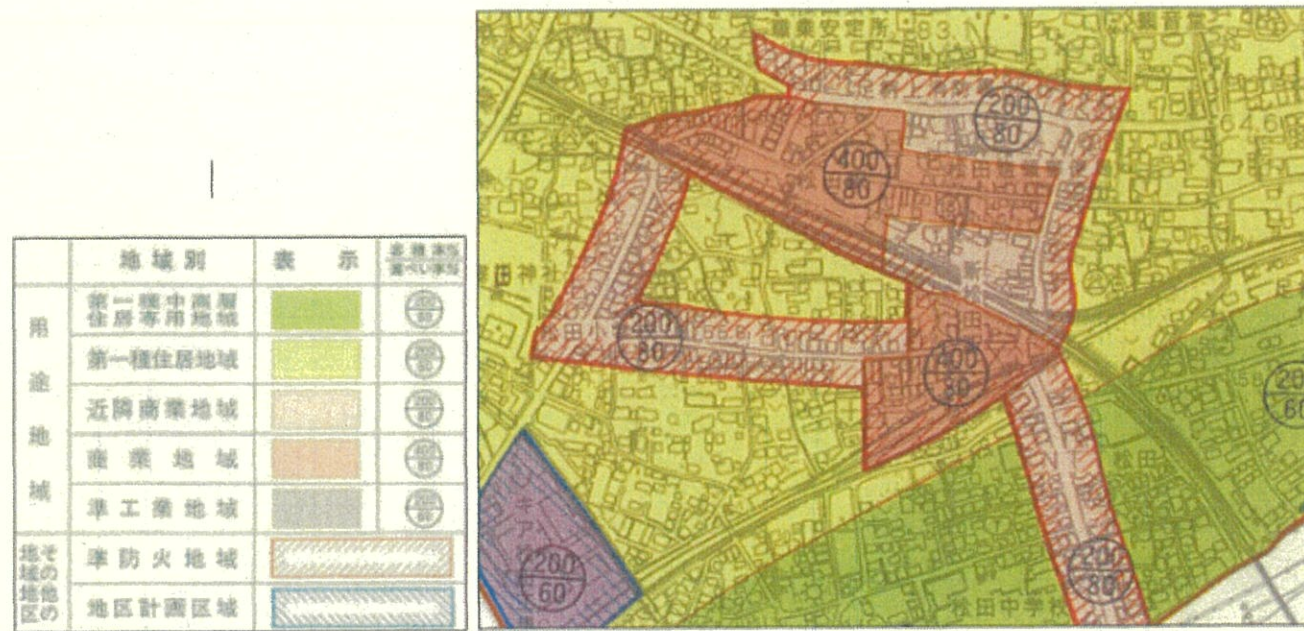
資料：都市計画基礎調査 (H22)

▼道路幅員現況図

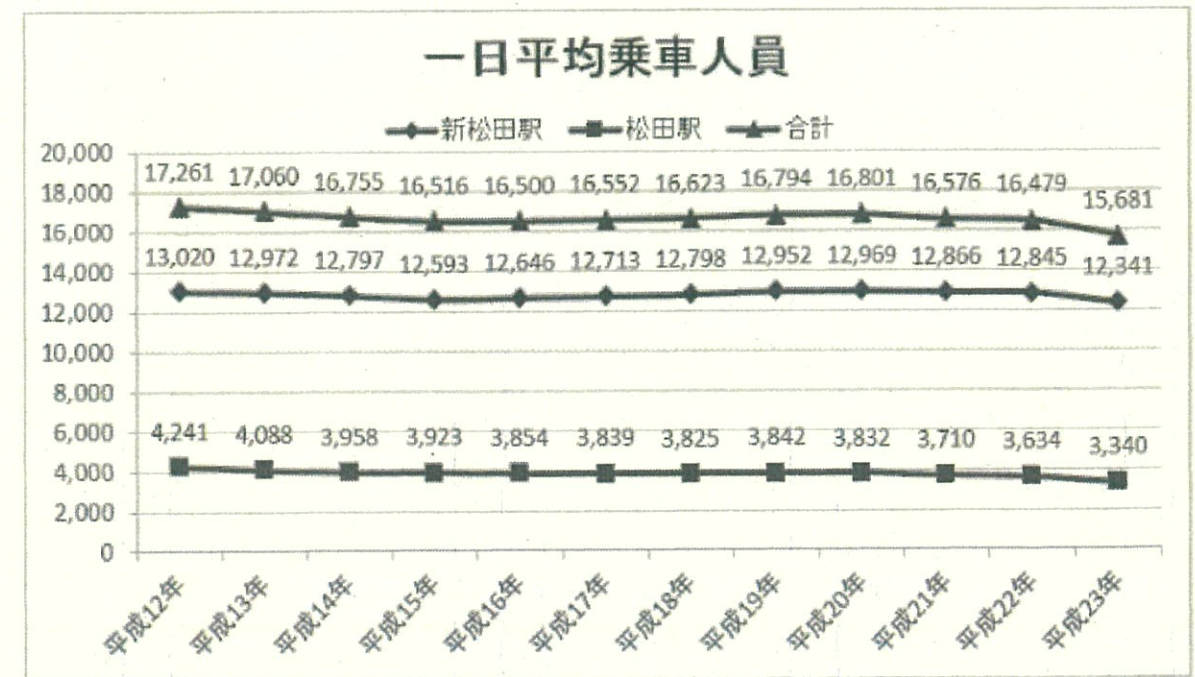


資料：都市計画基礎調査 (H22)

▼都市計画図 (用途地域)



▼一日平均乗車人員



参考：神奈川県勢要覧

4. 検討対象範囲

